

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

砂丘事務所（電話：0857-22-0583）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取砂丘新発見伝事業	15,271	15,271	0				15,271	
トータルコスト	27,373千円（前年度 26,870千円）[正職員：1.5人]							
主な業務内容	事業計画、イベントの公募・審査・実施の決定・広報・実施							
工程表の政策目標（指標）	砂丘の多角的な魅力の発掘・情報発信を行う。 （新発見伝事業：12事業）							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>鳥取砂丘観光の振興、地域の活性化に寄与することを目的に、鳥取砂丘の新しい魅力を創造・発見し、県内外に広く情報発信するイベントを民間から公募・イベントの開催経費を助成する鳥取砂丘再生会議に対して、鳥取砂丘新発見伝事業負担金を交付する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 鳥取砂丘新発見伝事業負担金：15,000千円 事務費：271千円</p> <p>ア 全体事業費 30,000千円</p> <p>イ 負担割合 県1/2、鳥取市1/2</p> <p>(2) 鳥取砂丘再生会議（利活用部会）の役割</p> <p>ア 民間からのイベント募集・審査・実施の決定並びにイベント開催経費の助成、サポート</p> <p>イ 実施されたイベントの事業評価</p> <p>ウ ホームページなどによる広報宣伝事業</p> <p>（参考：平成21年度開催イベント）</p> <p>鳥取砂丘イリュージョンⅦ、鳥取大砂丘全日本第5回サンドボード選手権大会など 計9イベントを実施</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>鳥取砂丘新発見伝事業のあり方について、鳥取砂丘再生会議利活用部会において議論を重ね、次のような見直しを検討、実施している。</p> <p>ア 新発見伝事業に応募しやすい雰囲気とするため、採択基準・審査の視点を見直した。</p> <p>イ 従来のイベント募集に併せて「アイデアコンテスト」を実施し、旧来のイメージにとらわれない新たなアイデアを募集した。</p> <p>→ 優秀作品については、利活用部会で実施に向けて検討、翌々年度以降の実施を目指す。</p> <p>ウ 魅力あるイベントへの改善を図るため、イベント実施者と利活用部会の意見交換会を実施し、イベントの事後評価を行っている。（平成21年度実施イベントから適用。）</p> <p>エ 砂丘に関わりの深い人々に広く集まっていただき、イベントの企画や運営、鳥取砂丘の利活用の促進について、様々な形で参加・協力をいただくため、「砂丘応援団」を立上げた。</p>								